

1 単元名「広めよう、未来に残そう『黒崎串だご』」

2 単元について

○本学級の子どもは、興味を持ったことには積極的に取り組む姿が見られる。これまでも、様々な体験的学習に取り組んできた。5年生になり、4年生にがたいね踊りの引継ぎを行うことで、伝統を引き継ぐ思いをさらに高めることができた。そこで、手鎌地域のよさに気づき、地域に対する思いが持てているこの期に本単元を取り上げる。そして、米作り体験、串だご作り体験を通して苦労や、工夫を自ら体験できるようにする。このことは、食料生産に携わる人々や干拓事業に携わった人々に対する感謝の気持ちを持ったり、伝統を自分たちで守っていくという意欲を高める上でも意義深い。

○本単元に関しては、第3学年「のり作りにはちょうせん！」で、地域の方とのりすき体験をし、地域の特色でもあるのりの生産について学んでいる。第4学年時には、手鎌歴史と里山の会の方から、手鎌校区の歴史を学び、先人達の苦労と工夫のおかげでこの土地があることを学んだ。また、つらい干拓労働から生まれた「黒崎がたいね踊り」を学び、様々な公共の場で発表することを通して、地域の方々が伝統を大切にされていることと、それを受け継いで行くことの大切さを学んだ。本単元では、この上に立って干拓の労働の合間に食べられていたり、地域の行事の時に食べられていた「黒崎串だご」作りについて学び、さらに手鎌校区のよさについて考えることができるようにする。

○本単元の指導にあたっては、これまでの学びのまとめとして手鎌校区のよさに気づかせたい。そこで、6月から10月まで、バケツ稲に取り組み、種蒔きから収穫、そして精米まですべて手作業で行う。また、地域の方の田んぼをお借りして田植え、稲刈りの体験をする。次に、GTの紙芝居「黒崎のはじまり」を聞くことで、串だごの歴史について学び、串だご作りを体験することで、串だごを多くの人に伝えたいという思いを持たせたい。そして、この体験やこれまでの学びを通して、手鎌校区のよさ=生きるということに気づき、関わった人々の苦労や思いを知り、感謝の気持ちを持ち、この土地で生きていくためにも伝統を受け継いでいこうという思いをさらに強く持たせたい。

3 目標

- 1 米作りや「黒崎串だご」に関わる探求的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能を身につけるとともに、手鎌校区の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられているに気付く。
- 2 米作りや「黒崎串だご」について学ぶ中で、問いを見出し、調べて得た情報を基に考える力を身につけると共に、考えたことをまとめ・表現する力を身につけさせる。
- 3 米作りや「黒崎くしだご」の学習に主体的に取り組むと共に、食生活は、干拓に携わった先人の思いや米の生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていることに気づき、それに感謝し、伝統を引き継いでいこうとする態度を育てる。

4 食育の視点

④ 感謝の心

- ・食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていること。
- ・食料の生産は、すべて自然の恩恵の上に成り立っていること。

⑥ 食文化

- ・自分達の住む地域には、昔から伝わる料理や季節、行事にちなんだ料理があること。
- ・地域の伝統や気候風土と深く結びつき、先人によって培われてきた多様な食文化があること。

5 計画 16時間+課外

- 1 4年生に「黒崎濁いねおどり」を引き継ぎ、学習の課題をつかませる。————— 2
- 2 「黒崎串だご」について調べる。————— 1 1
 - (1) GTの紙芝居を聞き、串だごの歴史などについて知る。----- ②
 - (2) 串だごについて調べたことをパンフレットなどにまとめる。----- ③
 - (3) 串だご作りの体験をする。----- ②
 (課外) 串だごを地域の方に届ける。
 (* 1学期に田植え②, 2学期に稲刈り②)
- 3 これまでの活動を振り返り、校区のよさを発信する。————— 3
 - (1) これまでの活動を振り返りグループ毎にまとめる ----- ①
 - (2) まとめたことをもとに、校区のよさについて話し合う ----- ① (本時)
 - (3) 食育フェスタで全校児童や地域の方に学んだことを発信する。----- ①

6 本時

平成30年12月5日 (水) 第5校時 於 5年1組教室

7 主眼

- 1 これまでの体験や学びを，クラス内で交流し，課題や共通していることを見出し，手鎌校区のよさについて考えることができる。
- 2 地域の伝統の継続や課題解決に向け，何ができそうか考えの根拠を明らかにしながら話し合うことができる。

8 準備物 写真，グループのまとめ

9 本時学習過程

段階	主な学習活動	指導上の留意点と支援																							
つかむ	<p>1 前時までの学習を想起し，本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生の時にはのりすき体験をしたね。 ・自分たちで作って食べた串だごはおいしかったね。 	<p>○これまでの地域学習を想起させるため，写真を提示し，これらの体験から手鎌校区のよさについて考えていくというめあてをつかませる。</p>																							
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>これまでの学びを伝え合い、手鎌校区のよさについて考えよう。</p> </div> <p>2 これまで学んだことを友達と伝え合い，次の課題解決に向けての話し合いをする。</p> <p>○テーマ毎にまとめたことを発表し，感想や質問，意見を交流する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>学び・感想</th> <th>思い</th> <th>課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>のりすき</td> <td>作業が大変</td> <td>海を大切に・のりをたくさん食べて</td> <td>生産者の減少・環境の変化</td> </tr> <tr> <td>湧いね踊り</td> <td>踊りがきつかった</td> <td>受け継いでほしい</td> <td>後継者不足</td> </tr> <tr> <td>田植え・稲刈り</td> <td>手作業は大変・機械にお金がかかる</td> <td>たくさん食べてほしい</td> <td>後継者・米の消費</td> </tr> <tr> <td>バケツ稲</td> <td>手作業で大変</td> <td>1粒でも大切に</td> <td>管理が大変</td> </tr> <tr> <td>串だご作り</td> <td>干拓の作業の合間に食べられていた</td> <td>収穫に感謝</td> <td>今は作られていない</td> </tr> </tbody> </table>		学び・感想	思い	課題	のりすき	作業が大変	海を大切に・のりをたくさん食べて	生産者の減少・環境の変化	湧いね踊り	踊りがきつかった	受け継いでほしい	後継者不足	田植え・稲刈り	手作業は大変・機械にお金がかかる	たくさん食べてほしい	後継者・米の消費	バケツ稲	手作業で大変	1粒でも大切に	管理が大変	串だご作り	干拓の作業の合間に食べられていた	収穫に感謝	今は作られていない
	学び・感想	思い	課題																						
のりすき	作業が大変	海を大切に・のりをたくさん食べて	生産者の減少・環境の変化																						
湧いね踊り	踊りがきつかった	受け継いでほしい	後継者不足																						
田植え・稲刈り	手作業は大変・機械にお金がかかる	たくさん食べてほしい	後継者・米の消費																						
バケツ稲	手作業で大変	1粒でも大切に	管理が大変																						
串だご作り	干拓の作業の合間に食べられていた	収穫に感謝	今は作られていない																						
しらべる	<p>○交流したことをもとに，手鎌校区のよさについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方…ひと ・産業や伝統…もの ・有明海…こと 	<p>○よさに気づかせるために，何のために干拓が行われているのかやどうして串だごが作られたのかなど目的を考えさせることで，「生きる」ということについて考えさせる。</p>																							
いかす	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>手鎌のよさは、この土地で生きてきた人々の工夫と努力によって受け継がれている。</p> </div> <p>3 本時学習を振り返り，これからの取り組みに対する思いを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手鎌校区のことをたくさんの人に知ってもらいたい。 <ul style="list-style-type: none"> →発表の場の設定 →串だごパンフレット ・保存会の方の高齢化 <ul style="list-style-type: none"> →伝統を受け継いでいきたい。 →自分たちの学びや思いを後輩に伝える ・農家・のり生産者の減少 <ul style="list-style-type: none"> →たくさん食べて元気に育つ →野菜を育ててみたい →残さずなんでも食べよう 	<p>○それぞれの課題から，これからの取り組みに対する気持ちを高めさせるとともに，これまでの活動を賞賛し，これからも受け継いでいこうという思いを強くさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>【育てたい資質・能力】 つながりを尊重する態度</p> </div>																							